

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	サービス提供に必要な人員、有資格者を配置しているか	<input type="radio"/>		相談支援事業所の職員は管理者を含め4名で、相談業務に関しては管理者を除いた3人が相談支援専門員の資格を有したうえで業務にあたっています。
	2	相談スペースが適切に設けられ、プライバシーが確保された空間であるか	<input type="radio"/>		個室の相談室を設けており、相談者のプライバシーが十分に確保されたスペースを確保しています。
	3	利用者に配慮した日時、場所で面談等を行っているか	<input type="radio"/>		相談時には事前に使用者と連絡を取り合い、都合のよい日程での面談を心がけています。相談室以外でも、利用者の状況に合わせて各所(自宅、事業所)への訪問での面談を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		定期的にケースや相談状況の振り返り、共有を行っています。同施設内の児童発達支援、放課後等デイサービスとの合同の職員会議を毎月2回行い、職員研修をしたり話し合いをして業務改善をしています。
	5	利用者に対して事業所の評価を実施するとともに、意向等を把握し業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		令和六年度時点においては、個別での評価、要望受付を行っています。利用者に向けた評価表の実施はできていないため、今後は評価表等での保護者の意向を把握を行い、公表できる形にすることで、さらなる業務改善に繋げていく予定です。
	6	事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		令和5年度の開所後から自己評価を行い公式ホームページにて掲載しています。今年度も自己評価を掲載したうえで、少しずつ質を高める予定です。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		必要な研修はできるだけ参加できる職員が参加し、毎月の会議で全員が把握できるようにしています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、利用者の心身の状況、障害特性等、生活歴、家族関係等、必要な情報を適切に把握し記録しているか子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		アセスメント、計画作成時には、利用者の様々な生活状況や健康状況を踏まえ、適切なニーズや課題を分析できるよう努めています。計画サービス等利用計画作成の際の基本的な視点である「エンパワメント・アドボカシーの視点」「総合的な生活支援の視点」「連携・チーム支援の視点」「ニーズに基づく支援の視点」「中立・公平性の視点」「生活の質の向上の視点」を理解し、反映した計画書を作成しています。
	9	サービス等利用計画、モニタリング、アセスメントは定められた時期や頻度、あるいは必要な際に適切に作成されているか	<input type="radio"/>		契約後、受給者証更新月にアセスメントを実施しサービス等利用計画を作成しています。また、サービス等利用計画作成後6か月毎に再度アセスメントを行った上でモニタリングを実施しており、モニタリング表の作成のほか必要状況に応じて計画の更新を行っています。
	10	アセスメントに沿って、使用者のニーズや課題を客観的に分析してサービス等利用計画を作成しているか	<input type="radio"/>		計画作成前のアセスメントを通して使用者の細かなニーズをくみ取り、更新時の計画に反映できるよう努めています。
	11	利用者がサービスを選択しやすいように、地域における指定障害福祉サービスの内容や利用料などの情報を、利用者に適正に提供しているか	<input type="radio"/>		アセスメント時において、使用者の各障害福祉受給者証、障害手帳等の取得状況や現在のサービス利用状況に合わせ、地域における指定障害福祉サービスの内容や利用料などの情報提供を行っています。
	12	サービス利用計画作成後、計画の実施状況の把握を行ない、必要に応じて計画の変更、事業者への連絡調整等を行っているか	<input type="radio"/>		サービス等利用計画作成後6か月毎(モニタリング月、障害福祉受給者証更新月)にアセスメントを行った上でモニタリングを実施しており、モニタリング表の作成のほか必要状況に応じて計画の更新、変更、事業者への連絡調整を行っています。
	13	利用者及び家族、事業者等の連絡を継続的に行い、その結果を記録しているか	<input type="radio"/>		初回契約後も電話やチャットサービスでの定期的な連絡を取り合い、断続的に相談を受ける体制を構築しています。また必要に応じて連絡の記録を行っています。
	14	必要な頻度、機会にサービス担当者会議を開催し、会議等にはその状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		利用者の要望や必要性に応じてサービス担当者会議を開催しています。会議等には利用者の現在利用している福祉サービス事業所、教育機関、行政機関、医療機関の中で適切な関係者が参画できるよう調整を行っています。
	15	日頃から地域の社会資源に向くなど、情報の収集にあたっているか	<input type="radio"/>		岡山市自立支援協議会が開催する地域支援こども部会、南西地域部会に定期的に参加し、地域の社会資源の発見と情報収集をしています。

関係機関や保護者との連携	16	市町村、他の障害者サービス事業、その他の保健医療サービス、及び福祉サービス、自立支援協議会等と連携しネットワークをつくっているか	○	岡山市自立支援協議会が開催する各研修、支援部会への参加を通して他の障害者サービス事業、及び福祉サービス、自立支援協議会等と連携を行っています。
	17	医療が必要な障害児の支援を円滑に進めるため、医療との連携体制を構築しているか	○	計画作成時とモニタリング時において、必要に応じて利用者の各医療機関への連携を求めており、適宜連携体制を構築できるようにしています。
	18	障害児の家庭の健全な子育てを支援するため、教育機関との連携体制を構築しているか	○	計画作成時とモニタリング時において、必要に応じて利用者の各教育機関への連携を求めており、適宜連携体制を構築できるようにしています。
	19	経済的自立が必要な障害者の支援を円滑かつ適切に進めるため、生活支援機関との連携体制を構築しているか	○	利用者の経済状況や生活状況を踏まえ適切に連携ができるように、必要に応じて福祉事務所等、各生活支援機関に連絡調整、情報共有を行っており、円滑に包括的支援を行えるよう関係構築をしています。
	20	障害児とその家族が、地域の一員として安心して暮らすことができる地域づくりを促進するため、地域住民との連携体制を構築しているか	○	事業所全体で毎年川崎医療福祉大学の重松先生の職員研修でご指導を受けたり、ご相談で近隣の方や民生委員さんが訪問していただき、地域の一員として安心して暮らすことができる地域づくりを促進するため、地域住民との連携体制を構築できるよう努めています。
	21	障害のある当事者及びその家族の安心した暮らしを支えるため、当事者団体との連携体制を構築しているか	○	自閉症児を育てる会等の研修に参加させていただき、頒布された広報等も提示して保護者の方々にもお知らせさせていただいています。
	22	協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	協議会や子ども部会にはほぼ毎回参加させていただいています。
	23	岡山市自立支援協議会が開催する地域支援子ども部会、南西地域部会に定期的に参加し伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	岡山市自立支援協議会が開催する地域支援子ども部会、南西地域部会に定期的に参加しており、各部会においての内容は子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って取り組めるよう職員全体で共有しています。
保護者への説明責任等	24	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時において、重要事項説明書、個人情報使用同意書、利用契約書の内容確認と説明を契約者に行ったうえで納得していただき、丁寧に内容の確認を行えるよう努めています。
	25	サービス等利用計画を示しながら計画内容の説明を行い、利用者からの同意を得ているか	○	利用者(または保護者)の目の前で作成したサービス等利用計画の説明を行い、同意していただいたうえでご署名をいただいています。また、要望に応じてその場で利用者の意向等も組み込みつつ、納得して同意していただけるよう説明を行っています。
	26	定期的に、利用者や家族の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	計画作成時、モニタリング時、サービス担当者会議の他に、利用者の相談に応じて福祉サービスの導入や変更、地域資源の提供、必要な助言等、必要な支援を行っています。
	27	利用者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や質問には随時その場で対応できるよう、常に心がけています。必要に応じて電話でも対応させていただいています。
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	相談支援事業所としての活動概要、行事予定等の会報の発行は行っていません。アニーの家の事業所全体のものとしては「おたより」にて行事予定等を毎月発信しています。
	29	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	職員全体で個人情報の取り扱いについて通常の会議で申し合わせ、十分に配慮するよう確認し取り組んでいます。(書類は鍵付きロッカーに入れてあります)
非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	緊急時マニュアルは玄関に置き、不審者侵入訓練も行ってあります。感染や嘔吐などの処理もマニュアル化しています。毎月マニュアルに基づき防犯防災訓練を実施しています。
	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	地震・火災・水害・不審者侵入の場合を想定して毎月訓練を実施しています。
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	厚生労働省のマニュアルを参考に、職員会議にて研修をおこなっています。